

看護小規模多機能居宅介護ひなたぼっこ水道町 第1回 運営推進会議議事録

日時	令和 8年 5月 26日
場所	ひなたぼっこ水道町1階相談室
出席者	事業者 3 名 包括職員 1 名 住民代表(民生委員) 1 名 利用者 0 名 市職員 0 名 利用者家族 0 名 その他() 0 名
内容	●令和8年3月下旬～8年5月中旬までの看護小規模多機能ひなたぼっこ水道町の運営について□
意見・要望	(看多機):現在の平均要介護度は「1.68」。防災訓練を5/21に実施。ただ歩行器を使用している利用者が多いため、訓練通り移動できるかが課題である。シニアサポートの「若松町懐メロ同好会」が月2回、歌体操の「コスモス」が月2回来所してレクリエーション活動を提供してくれている。4月に藤枝市「藤の里」へお花見に行った、2日間に分けてほぼ全員の利用者が行けた。5月には門屋の「鈴木クレーン会社」の鯉のぼりの鑑賞に行った。またお茶会を開催し、新茶と古いお茶のきき茶を行った。重要事項説明書にカスハラの対応について追加した。マスクや手袋、ペーパータオルが不足している。 (グループホーム):現在の平均要介護度は「3.182」。人材不足で残業が増えている。5/15会社全体で「始めよう口腔ケア」という研修を行った。事故としては杖歩行の利用者が杖で頭を搔いていて転倒。右大腿骨頸部を骨折した。キーパーソンの妹が東京にいて、入院・手術・退院時も来てもらえず大変だった。会社全体での秋の祭りは中止。「ひなたぼっこ水道町」単独での祭りを検討している。地域のスポーツ用品店が参加してくれる予定。 (民生委員):お祭りにキッチンカーに来てもらうと良い。水道町、若松町の回覧で告知したり、子供会にも周知してもらうことができる。民生委員が生活保護受給者の入院の手続きを行うことがある。病院からは「家族を呼んで欲しい」と言われた。納骨まで行うこともあった。 (地域包括):単身の高齢者でキーパーソンが県外にいる人の入院に困ることがあった。医師が家族に電話して代筆の許可を得ることもあった。
今後の課題	●「ひなたぼっこ水道町」でのお祭りをどのように開催するか。
次回の予定	●令和8年度第2回運営推進会議を令和8年7/28に開催予定。

スタッフ閲覧サイン